

令和 3 年度 高次脳機能障がい支援拠点機関相談状況報告

社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンターは大分県から平成 19 年 10 月より高次脳機能障がい支援拠点機関の委託を受け活動を開始しています。

高次脳機能障がい支援拠点機関の委託内容としては、高次脳機能障がい者及びその家族に対する相談窓口を設置し相談支援を実施することとなっています。

相談内容は、高次脳機能障がいの診断、評価、社会保障の活用、介護、訓練などの施設等への支援方法やアドバイス、就労・就学について本人、企業、施設等への支援方法やアドバイスをを行っています。

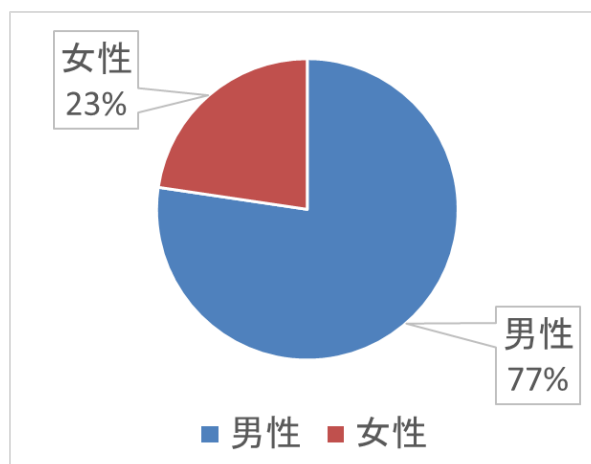
○令和 3 年度の相談件数

令和 3 年度、高次脳機能障がい支援コーディネーターが関わった相談者数は 128 名で、延べ件数は 339 件でした。

相談者数（128 名）の内訳

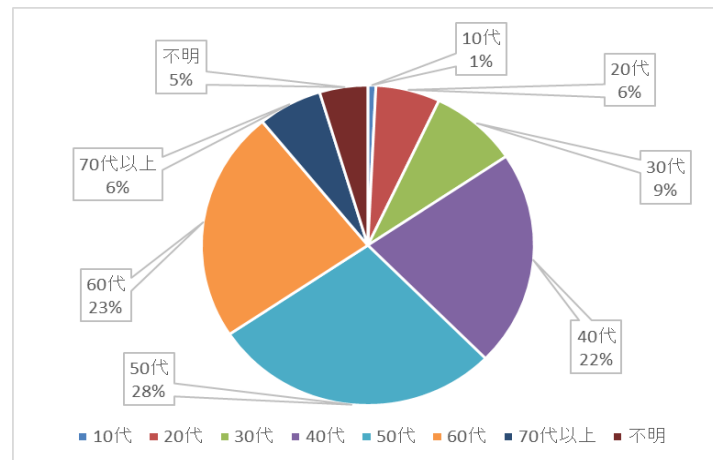
性別

男性	99
女性	29
合計	128



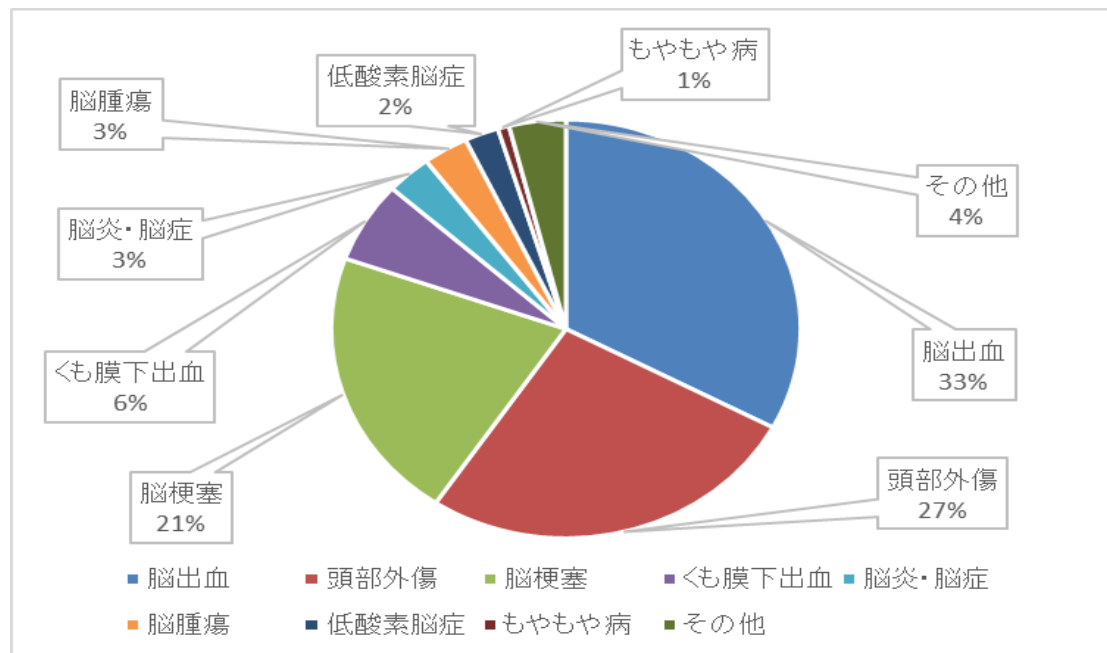
年齢

10代	1
20代	8
30代	11
40代	28
50代	36
60代	30
70代以上	8
不明	6



原因疾患

脳出血	頭部外傷	脳梗塞	くも膜下出血	脳炎・脳症	脳腫瘍	低酸素脳症	もやもや病	その他
42	34	27	8	4	4	3	1	5

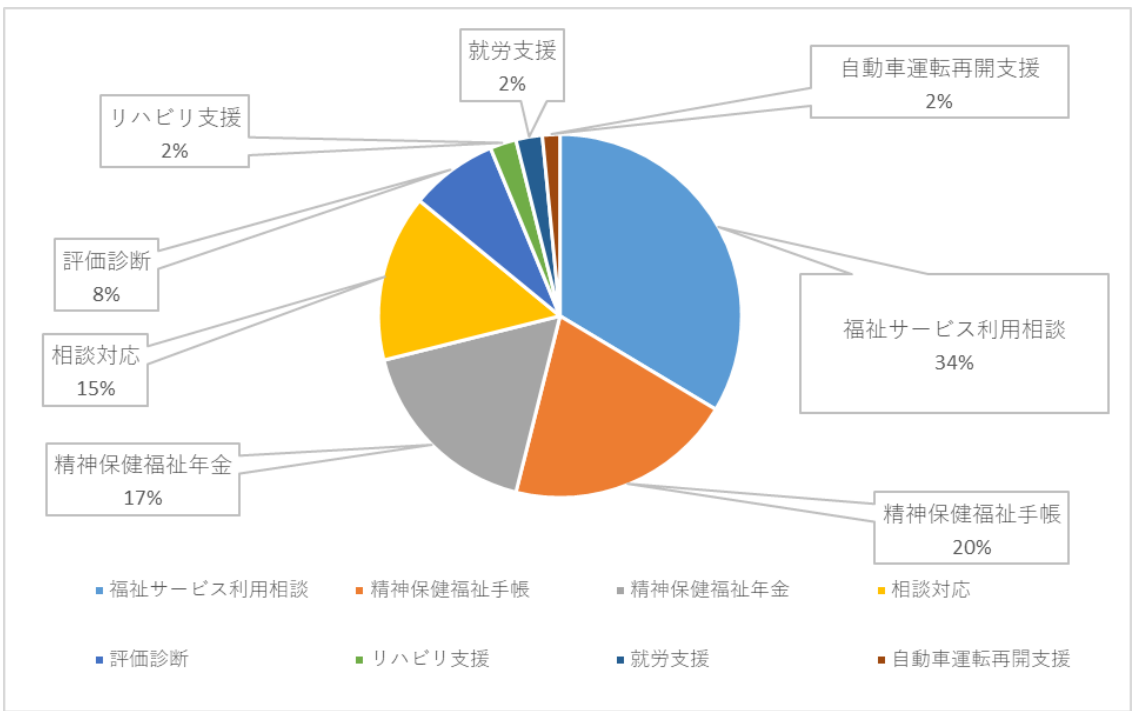


相談内容・支援内容

福祉サービス 利用相談	精神保健福祉 手帳	精神保健福祉 年金	相談対応	評価診断	リハビリ支援	就労支援	自動車運転再 開支援
43	26	22	19	10	3	3	2

※精神保健福祉手帳・精神保健福祉年金：新規申請・更新の支援

※リハビリ支援：高次脳機能障がいのリハビリテーション開始等に伴う支援



令和 3 年度は男性の相談が多く、年代別では 30 代から 60 代の相談が多い結果となりました。（※この実績は平成 19 年度より大きな変化は見られていません）

高次脳機能障がいの原因疾患としては、脳出血・脳梗塞・くも膜下出血が全体の 60 %を占め、続いて頭部外傷が 27 %でした。

相談者のおもな相談内容は、社会保障（精神保健福祉手帳・障害年金の申請）の手続き支援（37 %）、福祉サービスの利用支援（34 %）、高次脳機能障がい者の対応や事業所等での支援方法の相談（15 %）、高次脳機能障がいの診断評価（8 %）でした。